

平成 28 年度（ 国語科 ） 授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な指導計画
1 年	○基礎的な漢字習得の徹底を図る。 ○言語に関する知識や能力の習得の徹底を図る。 ○文章を読み込んで理解を深め、自分の考えを発展させる力をつけさせる。	○漢字練習ノートを用いた漢字小テストの計画的な実施や、長期休業時の課題を設定する。 ○反復や小テストなどを行い、確実な習得を目指す。 ○発問の工夫や、小集団での学び合いを取り入れ、読解活動を充実させる。	○漢字練習が必要な生徒には、別途小学生段階の漢字も含めて復習させる。 ○ワークなどを用いて家庭学習の充実を図る。 ○学習の最初と最後に、考えを書いて言語化させ、他者と共有させることにより、自身の読み取りについて客観的に捉えさせる。
2 年	○学習内容をもとに自分の考えを深め、説得的にまとめ発信する力をつけさせる。 ○言語に関する知識や能力の習得の個人差が大きいので基礎的な知識を身に付けさせる。	○単元のまとめなどで書く・発表する機会を反復して設ける。具体的な構成の指導などを行う。小グループ・全体で交流を通して学び合う。 ○家庭学習ノートや漢字テストを活用させ、漢字練習などを習慣化させる働きかけを行う。	○支援が必要な生徒にはモデルや型を示す。文章を書くことが苦手な生徒には個別に指導・添削をする。 ○補充教室などの機会を活用して漢字学習などに取り組む機会をつくる。
3 年	○基礎的な言語に関する知識が不十分なので習得させる手立てを講じる。 ○長い説明的文章を読み取る練習をさせる。 ○どの生徒にも自分の考えを的確に表現する力をつけさせる。	○基本となる漢字習得等の小テストを継続する。 ○教科書以外の長文にふれる機会を増やしていく。 ○課題に応じた短作文作成や、グループにおける討論などに取り組ませる。	○必要がある生徒については個別の学習会等で漢字学習を繰り返して行く。 ○発展的に読み取ったことをまとめる機会をつくる。 ○繰り返し行う中で、必要な生徒に個々に応じたアドバイスを与えていく。